

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(5/8)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
東九州メディカルバレー構想特区(大分県等)	準	A 4.7	A 4.5 進捗度 ・大分県・宮崎県合計の医療機器生産金額 84% ・大分県・宮崎県内の新規医療機器製造登録業者数 300%	B 4.4 規制の特例等 ・非治験臨床性能評価制度適用範囲の拡大 財政支援等 ・医療機器産業参入促進事業(課題解決型医療機器等開発事業) 地域独自の取組 ・宮崎県創業・新事業挑戦支援ファンド事業 等	+0.2	<p>・<u>全体的な進捗状況(※1)、今後の方向性(※2)について、概ね順調かつ適切なものと評価できる。</u></p> <p>・地域の成長と特区との関連がわかるように、施策がどのように効果を発現したかがわかるように、具体的に検証することが必要。</p> <p>※1: ・大分県・宮崎県合計の医療機器生産金額(H24年度目標)1,377億円、(実績)1,158億円、進捗度84% ・大分県・宮崎県内の新規医療機器製造登録業者数(H24年度目標)2事業所、(実績)6事業所、進捗度300%</p> <p>※2: 医療機器生産金額の増加について、H24年度は目標未達となっているが、今後、両県の主要メーカーが生産ラインを増設すること、地場企業の参入が見込めることを鑑みると、現在の取組の方向性は適正であるものと評価。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。